

2025 年 10 月 21 日

2025 年冬期スケジュール 国際定期便は過去最高 週 1,737.5 便 ～韓国、東南アジア方面の旅客便も過去最高～

関西エアポート株式会社は、国際定期便の 2025 年冬期スケジュールについて、国際旅客便における韓国・東南アジア方面を中心に、2025 年夏期スケジュールに比べて増便により利便性の拡大が進んだことから、**週 1,737.5 便^{*1}と、夏期・冬期を通じて過去最高の便数**を見込んでいます（12 月ピーク時点）。その内、**国際旅客便数は週 1,553.5 便で同じく過去最高**、国際貨物便数は週 184 便となっています。

2025 年冬期スケジュールの国際旅客便における主要な新しい路線については、以下の通りです。

- ・ 10 月 26 日 イースター航空が釜山線を週 14 便で復便します。
- ・ 10 月 26 日 ジェットスター・ジャパンがマニラ線を週 7 便で復便します。
- ・ 12 月 2 日 タイ・ライオン・エアがバンコク（ドンムアン）（台北経由）線を週 4 便で復便します。

韓国方面は週 453.5 便（24 年冬期 124%）、東南アジア方面は週 212 便（24 年冬期比 116%）と、いずれも開港以来過去最高の便数を見込んでいます。その他、中国方面は週 525 便（24 年冬期比 108%）、台湾方面は週 142.5 便（24 年冬期比 107%）、香港・マカオ方面は週 136.5 便（24 年冬期比 98%）などと、アジア圏の方面は 2024 年冬期スケジュールと同程度かそれ以上の便数を見込んでいます。

国際旅客便における LCC 便数は週 735.5 便（LCC 割合は 47%）と、過去最多の便数規模となっています。

なお、4 月 18 日から第 2 ターミナルビルがオープンしました神戸空港につきましては、引き続き冬期の期初においても 4 社 5 都市の国際チャーター便の就航を予定しております。

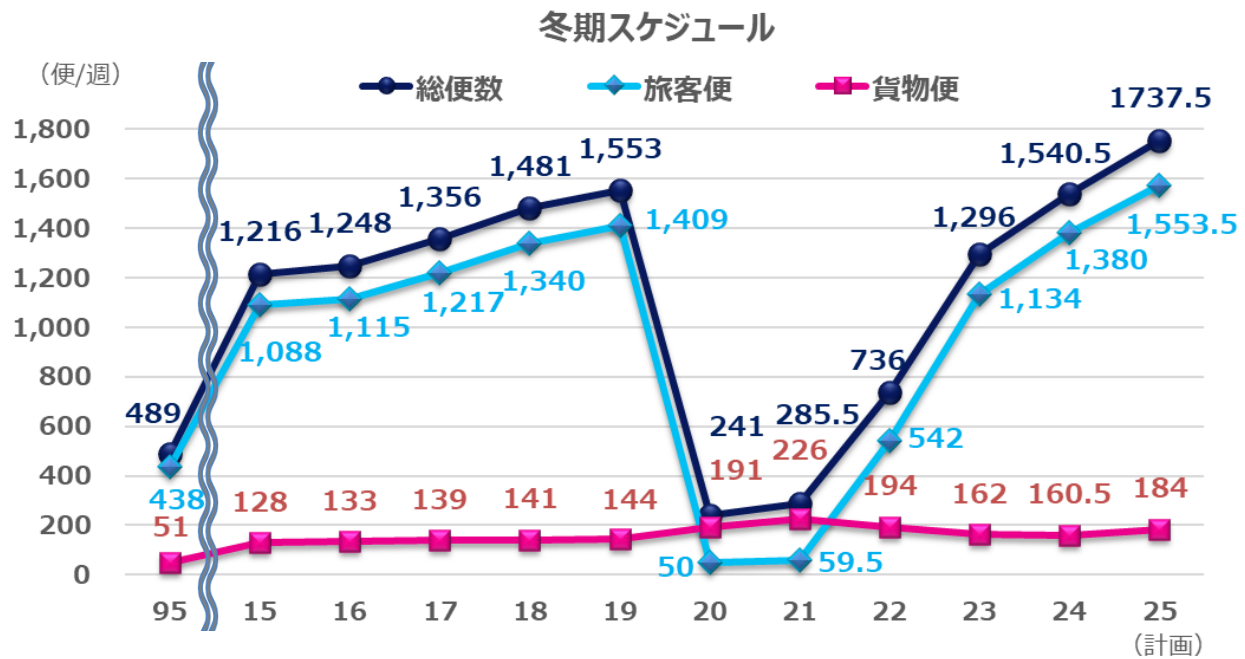
国内旅客便については、3 空港合計の 1 日あたりの便数は 282 便（ピーク時）と、2024 年冬期スケジュール実績の 289 便（ピーク時）をやや下回っています。

^{*1} 就航が確定している便数ベースで集計

【報道関係の方からのお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション
Tel : 072-455-2201

国際定期便 就航便数の推移



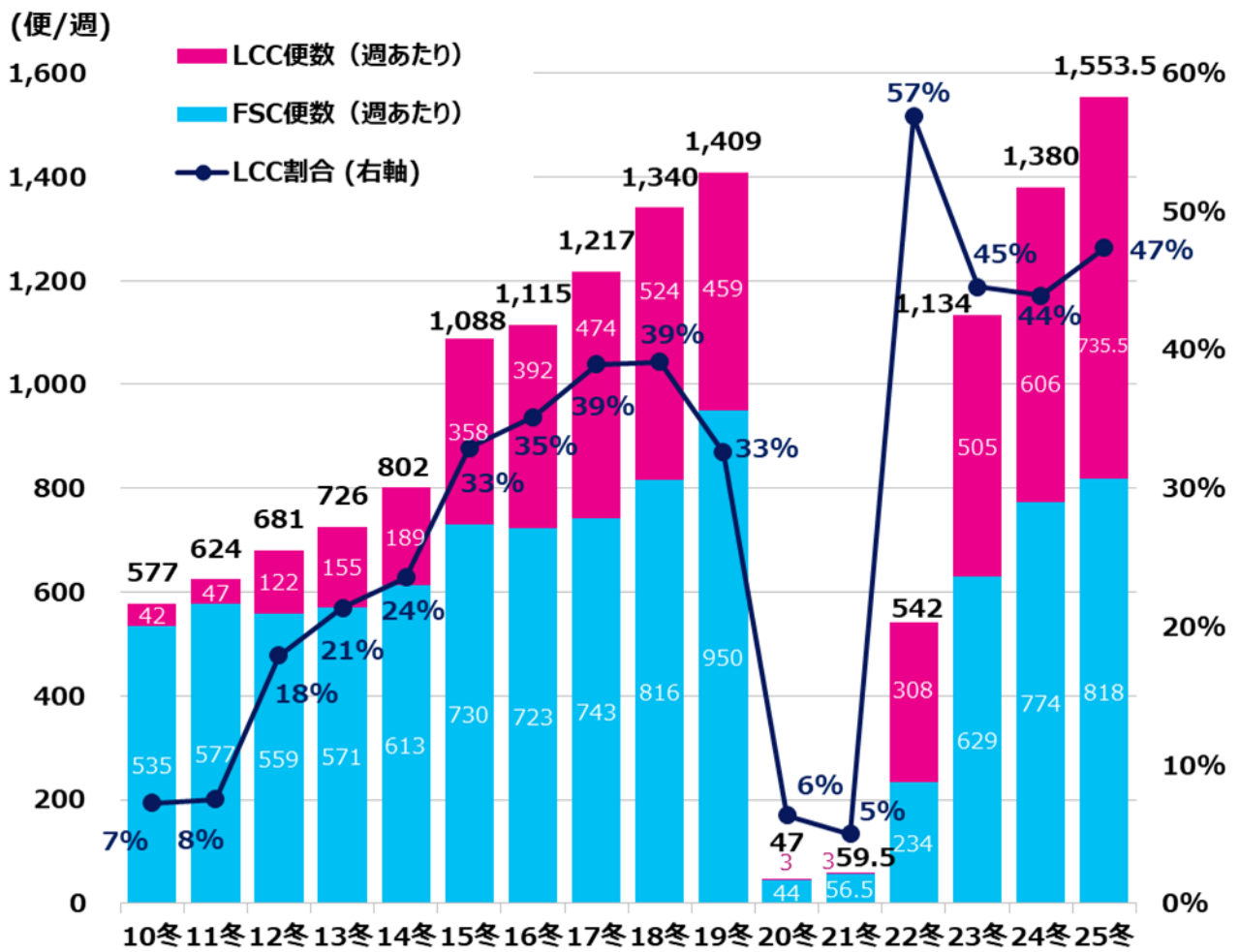
◇ 方面別便数内訳 (国際定期旅客便)

	19夏	(都市数)	19冬	(都市数)		23夏	(都市数)	23冬	(都市数)	24夏	(都市数)	24冬	(都市数)	25夏	(都市数)	25冬 計画	(都市数)	構成比
韓国	348	(6)	232	(4)		317	(5)	349	(6)	340	(5)	366	(5)	386	(5)	453.5	(5)	29%
中国	494	(34)	600	(37)		215	(18)	285	(21)	388	(22)	488	(28)	584	(31)	525	(31)	34%
香港・マカオ	124	(2)	125	(2)		109	(2)	133	(2)	140	(2)	140	(2)	143	(2)	136.5	(2)	9%
台湾	135	(3)	134	(3)		112	(2)	119	(2)	126	(2)	133	(2)	133	(2)	142.5	(2)	9%
東南アジア	197	(11)	198	(11)		150	(7)	168	(7)	177	(7)	182	(8)	176	(9)	212	(9)	14%
北米	54	(5)	40	(3)		26	(4)	24	(3)	33	(5)	22	(3)	35	(5)	28	(3)	2%
うちハワイ	28	(1)	28	(1)		11	(1)	12	(1)	12	(1)	12	(1)	14	(1)	14	(1)	
欧州	35	(5)	30	(5)		12	(4)	18	(5)	27	(5)	14	(4)	27	(5)	19	(5)	1%
オセアニア・グアム	32	(4)	40	(5)		11	(2)	19	(3)	22	(4)	20	(4)	25	(4)	25	(4)	2%
その他*	14	(5)	10	(3)		12	(2)	19	(3)	21	(4)	15	(3)	20	(4)	12	(2)	1%
合計	1,433	(75)	1,409	(73)		964	(46)	1,134	(52)	1,274	(56)	1,380	(59)	1,529	(67)	1,553.5	(63)	100%
本邦社	3 社		4 社			3 社		3 社		4 社		4 社		4 社		4 社		
外航社	60 社		60 社			54 社		57 社		59 社		56 社		61 社		58 社		
運航会社	63 社		64 社			57 社		60 社		63 社		60 社		65 社		62 社		

表はピーク時における実績及び計画便数。

* その他方面には、中東、インド、ネパール、極東アジアを含む。

国際線定期旅客便における LCC 割合の推移



国際定期便 航空会社別就航便数											
国・地域名	LCC	航空会社	2024年冬期 10/27～3/29 2025年1月（ピーク）			2025年夏期 3/30～10/25 2025年8月（ピーク）			2025年冬期 10/26～3/28 2025年12月（ピーク）		
			実績			実績			計画		
			旅客便	貨物便	合計	旅客便	貨物便	合計	旅客便	貨物便	合計
日本		JL 日本航空	24		24	28		28	28		28
		NH 全日本空輸	11		11	11		11	11		11
アメリカ	★	MM Peach	98		98	98		98	116.5		116.5
	★	GK ジェットスター・ジャパン	14		14	14		14	21		21
		UA ユナイテッド航空	14		14	14		14	14		14
		HA ハワイアン航空	7		7	7		7	7		7
		FX フェデラル エクスプレス		72	72		72.5	72.5		86	86
カナダ		5X ユナイテッド パーセル サービス		22	22		18	18		22	22
ドイツ		AC エア・カナダ				7		7	▲		▲
		LH ルフトハンザドイツ航空				5		5	3		3
オランダ		3S エアロロジック		1	1						
		KL K L Mオランダ航空	3		3	4		4	3		3
フランス		AF エールフランス航空	3		3	4		4	3		3
フィンランド		AY フィンエア	3		3	7		7	3		3
トルコ		TK ターキッシュ エアラインズ	5		5	7		7	7		7
アラブ首長国連邦		EK エミレーツ航空	7	2	9	7	2	9	7		7
カタール		EY エディハド航空	3		3	6		6	▲		▲
		QR カタール航空	5	0.5	5.5	5	0.5	5.5	5		5
韓国		KE 大韓航空	42	5	47	35	5	40	42	5	47
		OZ アシアナ航空	42	3	45	40		40	35		35
中国	★	7C チェジュ航空	56		56	59		59	80		80
	★	BX エアプサン	44		44	42		42	42		42
	★	ZE イースター航空	21		21	21		21	35		35
	★	LJ ジンエア	42		42	49		49	42		42
	★	TW ティーウェイ航空	56		56	63		63	75		75
	★	RS エアソウル	21		21	21		21	21		21
	★	RF エアロK	14		14	28		28	35		35
		KJ エアゼータ					6	6		6	6
		CA 中国国際航空	35		35	49		49	49		49
		MU 中国東方航空	63		63	76		76	70		70
		CK 中国貨運航空		3	3		2	2		5	5
		CZ 中国南方航空	36		36	43		43	47		47
		MF 厦門航空	21		21	28		28	24		24
		FM 上海航空	14		14	14		14	14		14
		CF 中国貨運郵政航空		13	13		12	12		20	20
香港		ZH 深圳航空	56		56	42		42	42		42
		SC 山東航空	35	7	42	35	6	41	35	13	48
	★	9C 春秋航空	84		84	112		112	91		91
		HO 上海吉祥航空	70		70	77		77	70		70
		GS 天津航空	14		14	17		17	10		10
		JD 北京首都航空	3		3	3		3	3		3
		3U 四川航空	7	3	10	7	4	11	7	7	14
		HU 海南航空	14		14	17		17	17		17
		O3 順豊航空		11	11		6	6			
		GJ 長竜航空	7		7	14		14	7		7
		NS 河北航空	4		4	4		4			
	★	AQ 九元航空				7		7	7		7
	★	KN 中国聯合航空				7		7			
		QW 青島航空				7		7	7		7
		CX キャセイパシフィック航空	35	4	39	42	4	46	42	4	46
マカオ 台湾	★	UO 香港エクスプレス	35		35	35		35	37		37
		HX 香港航空	28		28	27		27	28		28
		HB グレーター・ベイ航空	14		14	11		11	11		11
		LD エアホンコン		6	6		5	5		5	5
		NX マカオ航空	7		7	7		7	7		7
フィリピン		BR エバー航空	28	3	31	32	4	36	32	4	36
		CI チャイナ エアライン	31	5	36	31	6.5	37.5	31	7	38
	★	IT タイガーエア台湾	18		18	21		21	21		21
		JX スターラックス航空	14		14	14		14	14		14
		PR フィリピン航空	17		17	17		17	20		20
ベトナム	★	5J セブ パシフィック航空	11		11	12		12	18		18
	★	Z2 フィリピン・エアアジア	7		7	7		7	7		7
		VN ベトナム航空	14		14	19		19	18		18
	★	VJ ベトジェットエア	21		21	18		18	21		21
		TG タイ国際航空	14		14	14		14	14		14
タイ	★	XJ タイ・エアアジアX	14		14	14		14	17		17
	★	SL タイ・ライオン・エア							4		4
	★	VZ タイベトジェット	11		11	10		10	10		10
		MH マレーシア航空	7		7	7		7	7		7
	★	D7 エアアジアX	14		14	14		14	17		17
シンガポール		OD バティックエア マレーシア							3		3
		SQ シンガポール航空	17		17	17		17	21		21
	★	3K ジェットスター・アジア航空	7		7						
	★	TR スクート	7		7	6		6	7		7
	★	JQ ジェットスター航空	11		11	11		11	11		11
オーストラリア モンゴル		OM MIATモンゴル航空				2		2			
合 計		週間就航便数	1,380	160.5	1,540.5	1,529	153.5	1,682.5	1,553.5	184	1,737.5
		1日あたり就航便数	197.1/日	22.9/日	220.1/日	218.4/日	21.9/日	240.4/日	221.9/日	26.3/日	248.2/日
		運航会社数	60社	16社	67社	65社	15社	72社	62社	12社	68社
		就航国（地域）数	17	18	22	20	20	24	18	23	27
		就航都市数	59都市	38都市	75都市	68都市	39都市	81都市	63都市	44都市	82都市

※▲はピーク時点以外で一部運航ありを示す。下段の運航会社数には加算していない。

国内定期旅客便 就航便数

地域	都市	ITAMI								KIX								KOBE								
		2024年 冬期 (実績)	2025年 夏期 (実績)	2025冬期（計画）						2024年 冬期 (実績)	2025年 夏期 (実績)	2025冬期（計画）						2024年 冬期 (実績)	2025年 夏期 (実績)	2025冬期（計画）						
				計									計											計		
北海道	札幌（新千歳）	10	10	12	6	6			16	12	11	2		2		6	1	7	7	7	1	4		2		
	女満別									1																
	函館	2	2	3	1	2																				
東北 信越	青森	7	6	6	3	3											1	1	1					1		
	三沢	1	2	2	2																					
	秋田	6	6	6	3	3																				
	花巻	4	4	4	4												1	1								
	山形	3	3	3	3																					
	仙台	14	14	14	7	5	2		3	3	3				3		2	2	2		2					
	福島	4	4	4		2	2																			
	新潟	10	10	10	4	3	3											1	2						2	
	松本																2	2	2					2		
関東	成田	2	2	2	1	1			6	6	6				3	3										
	羽田	30	30	30	15	15			12	12	12	3		5	4			8	8	8	2	6				
	茨城																	3	3	3		3				
近畿 中国 四国	但馬	2	2	2	2																					
	隠岐	1	1	1	1																					
	出雲	4	4	4	4																					
	松山	10	10	10	2	8																				
	高知	6	6	6		6																				
九州	福岡	11	11	11	4	5	2		5	4	4				4											
	長崎	8	8	8	4	4			1	1	1				1		3	3	3		3					
	熊本	11	11	11	4	6		1																		
	大分	7	7	4	1	3																				
	宮崎	11	11	10	4	6			1	1	1				1											
	鹿児島	14	14	14	8	6			2	2	2				2		2	3	3		3					
	屋久島	1	1	1	1																					
	種子島			1	1																					
	奄美大島	1	1	1	1				1	1	1				1											
沖縄	那覇	5	5	5	2	3			14	13	11		3	3		3	2	7	8	7		4	3			
	石垣								4	4	4		1	1		2										
	宮古								2	2	2		1	1												
	下地島																1	1	1		1					
1日あたり 便数	（実績）	185	185	-	-	-	-	-	67	62	-	-	-	-	-	-	37	40	-	-	-	-	-	-	-	
	（計画）	-	-	185	88	87	9	1	-	-	58	5	5	12	4	26	6	-	-	39	3	26	3	2	3	2
就航都市数		26	26	27	25	18	4	1	12	13	12	2	3	5	1	10	3	11	12	11	2	8	1	1	2	1

※臨時便・チャーター便を除く。
※各期のピーク時点便数を記載。(2025冬期のピークは1月)
※小数点以下便数は、片道運航であることを示す。

■大阪国際空港 就航会社・・・日本航空 (JAL)、全日本空輸 (ANA)、アイベックスエアラインズ (IBEX)、天草エアライン (AMX)
■関西国際空港 就航会社・・・日本航空 (JAL)、日本トランスオーシャン航空 (JTA)、全日本空輸 (ANA)、スターフライヤー (SFJ)、ピーチ・アビエーション (APJ)、ジェットスター・ジャパン (JJP)
■神戸空港 就航会社・・・全日本空輸 (ANA)、スカイマーク (SKY)、ソラドエア (SNJ)、AIRDO (ADO)、フジドリームエアラインズ (FDA)、トキエア (TOK)



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016 年 4 月 1 日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018 年 4 月 1 日からは関西エアポート株式会社の 100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西 3 空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北 1 番地 大阪市西区西本町一丁目 4 番 1 号（登記上）	株主	オリックス株式会社 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港 1 番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックスグループについて

1964 年に設立されたオリックスグループは、法人金融、産業/ICT 機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など、多角的に事業を展開する企業グループです。現在は、世界約 30 カ国・地域において、約 34,000 人の役職員により事業を展開しています。

オリックスグループの社会における存在意義は、「世の中がよりよい方向に進むきっかけとなる、“未来をひらくインパクト”をもたらすこと」です。この Purpose を軸に、グローバルで一体となり、社会に貢献してまいります。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、14 カ国において 70 以上の空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で 2050 年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016 年から他の空港運営事業者と先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社 JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、NTT 西日本株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱 U F J 銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

2025年度（4-9月）利用状況 及び 2025年 冬期スケジュールについて

2025年10月21日



Shaping a New Journey



 **2025年度 利用状況 (4月-9月)**

 **2025年冬期スケジュールについて**

 **質疑応答**

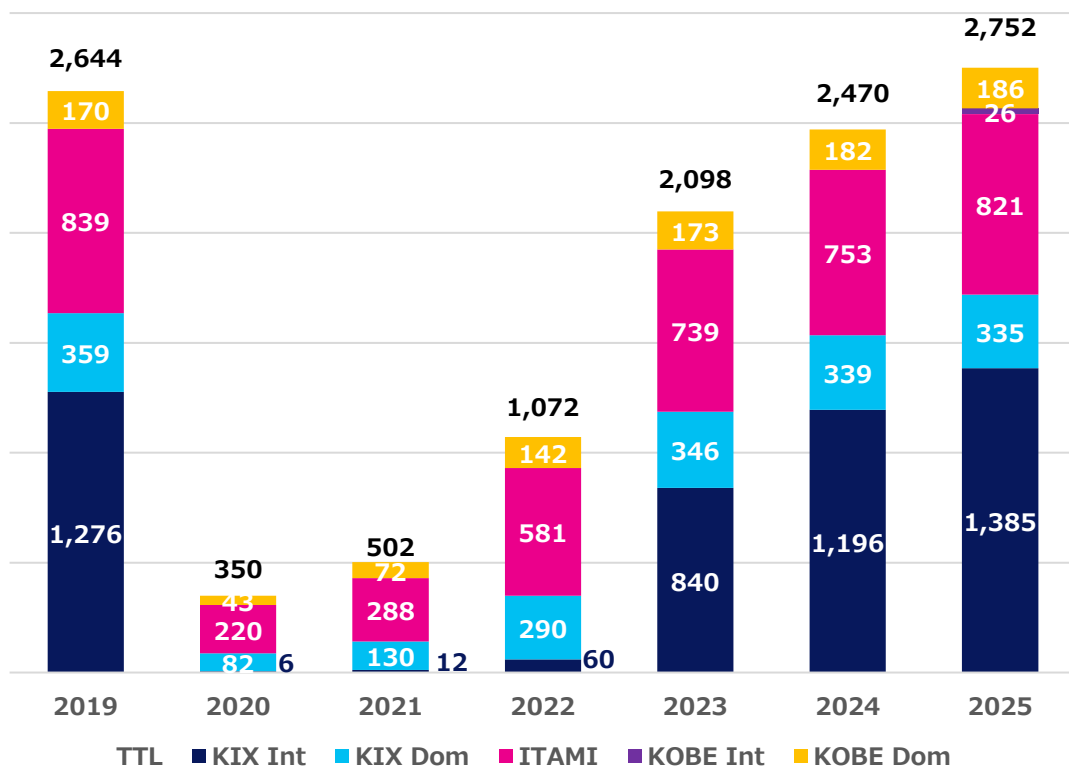
2025年度 利用状況（4月-9月）

3空港 旅客数利用実績（2025年度 4-9月）

2025年度 4-9月の3空港合計の総旅客数は2,752万人（過去最高を記録）

年度上半期（4－9月） 旅客数実績

（単位：万人）



（注）表中の合計は、端数処理の関係上、単純計算値とは一部一致していません。

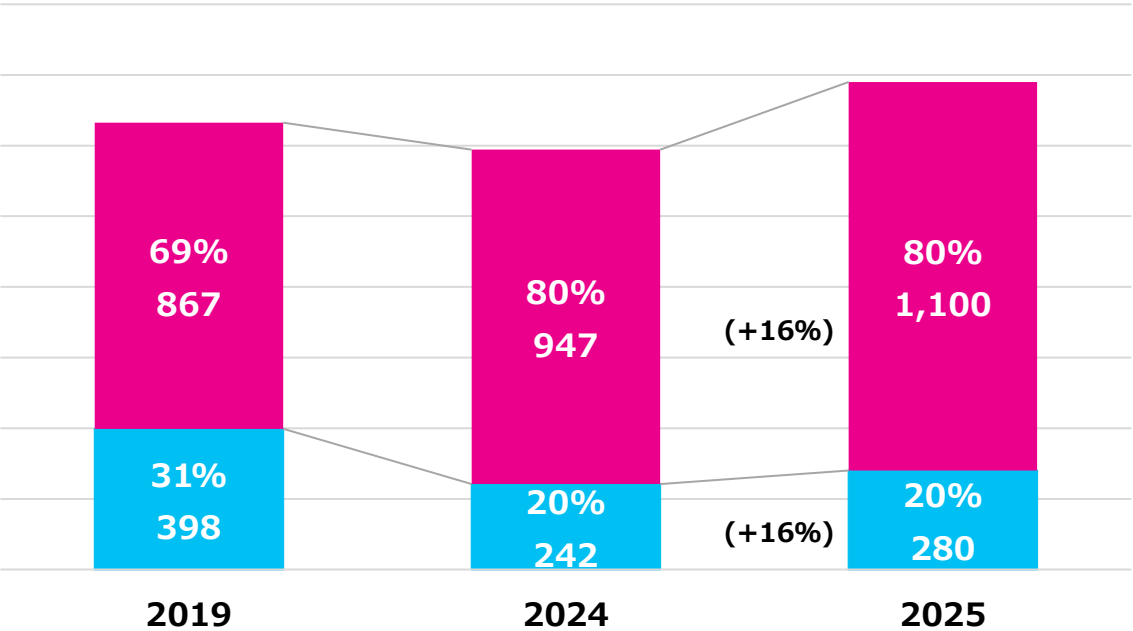
- ✈ 国際線旅客数（神戸空港国際線チャーター便を含む）は、インバウンド・アウトバウンドともに昨年を大きく上回り、1,411万人と、年度上半期として過去最高を記録。
- ✈ 国内線旅客数は、大阪・関西万博の開催を背景に、大阪国際空港を中心として旅客数が増加。3空港合計では、昨年から66万人（+5%）増の1,341万人となった。

KIX国際線旅客数（2025年度 4-9月）

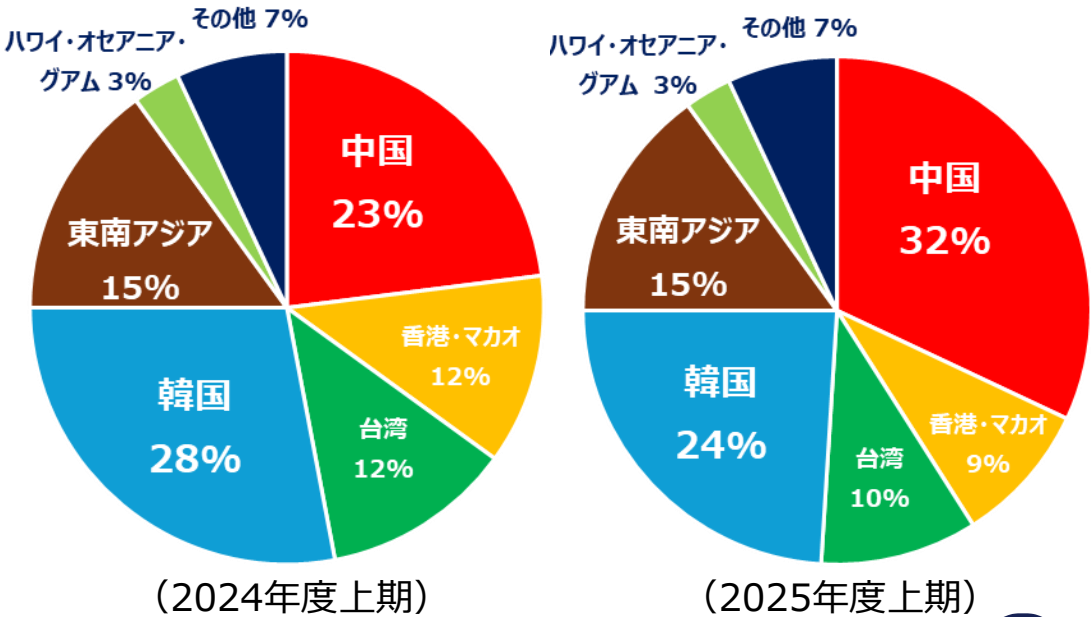
外国人旅客・日本人旅客ともに増加

- ✈ 大阪・関西万博の開催、中国方面の旺盛な需要を背景とし、外国人インバウンド旅客は昨年同期比116%、過去最高を記録。
- ✈ 日本人アウトバウンド旅客も昨年同期比116%と顕著な増加を示しており、2019年同期比は70%。
- ✈ 特に中国方面の旅客数は昨年同期比で158%であり、方面別シェアを昨年から大きく増加させた。

年度上半期 KIX国際線 日本人/外国人 推移
(単位：万人)



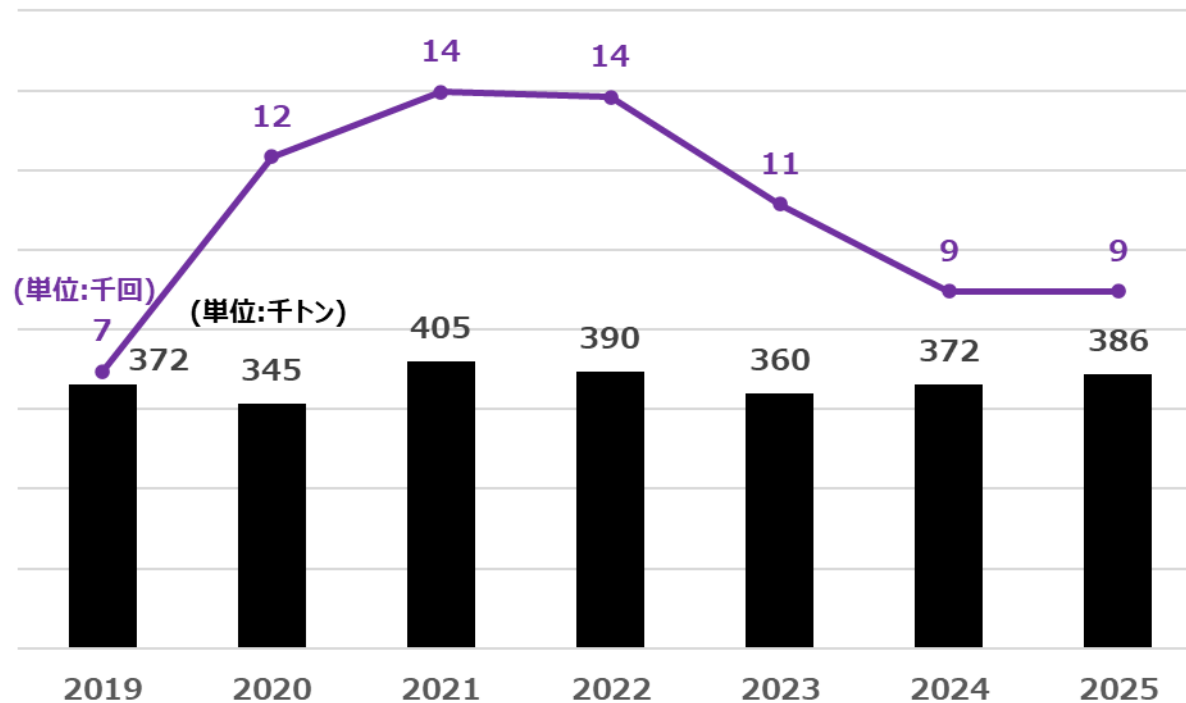
国際線旅客数の方面別シェア



KIX国際線貨物実績（2025年度 4-9月）

国際線貨物便数は依然として2019年の同時期よりも多く、昨年と同水準で推移するも、国際線貨物取扱量は前年比4%増加

過去7か年における国際線貨物便数及び国際線貨物取扱量の推移
(年度上半期)



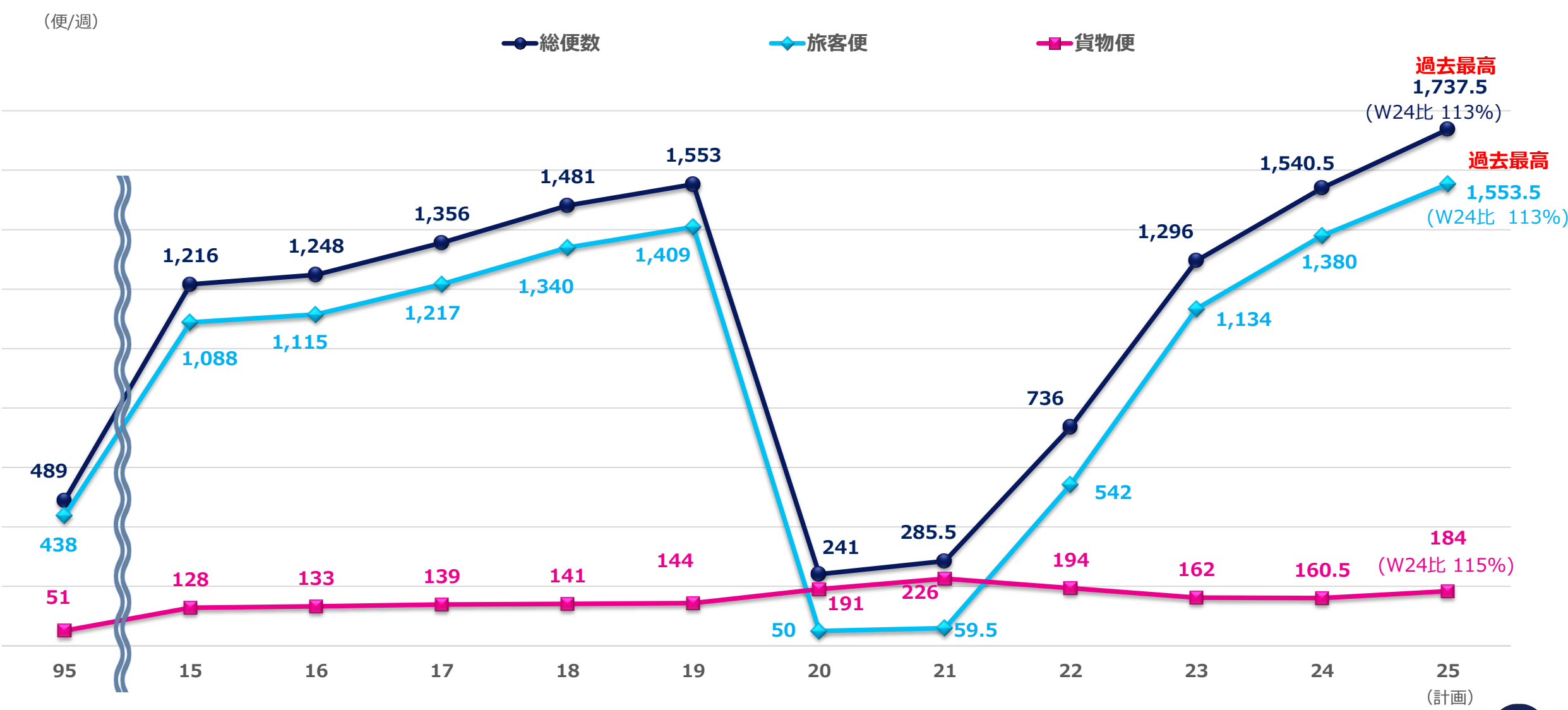
- ✈ 国際貨物取扱量は、前年同期間と比較すると4%の増。
- ✈ 世界の他地域と同様に、ECOMMERCE関連需要の高まりや、上向きの経済の影響を受けたとみられる。



2025年冬期スケジュールについて

KIX 2025年冬期スケジュール国際定期便 就航便数

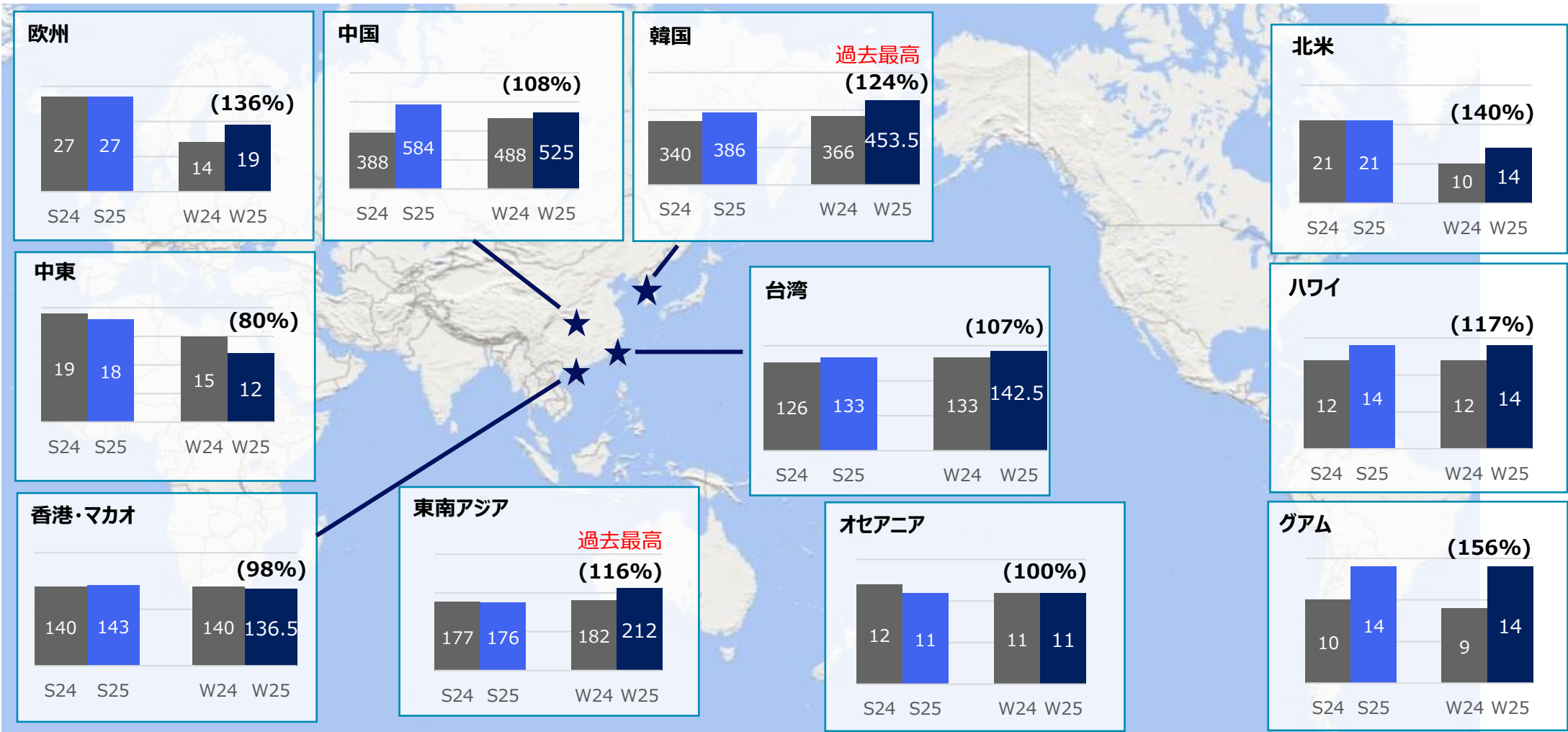
- 各スケジュール、ピーク月の便数を記載
- W25 は2025年冬期スケジュールピーク想定12月の計画便数



KIX 国際旅客定期便 2025年冬期スケジュール便数（国・地域別）

- W25 は2025年冬期スケジュールピーク想定12月の計画便数
- S25 は2025年夏期スケジュールにおける9/30現在のピーク便数（8月）
- グラフ中（ ）内の数値は2024年夏期/冬期スケジュールとの同期比較

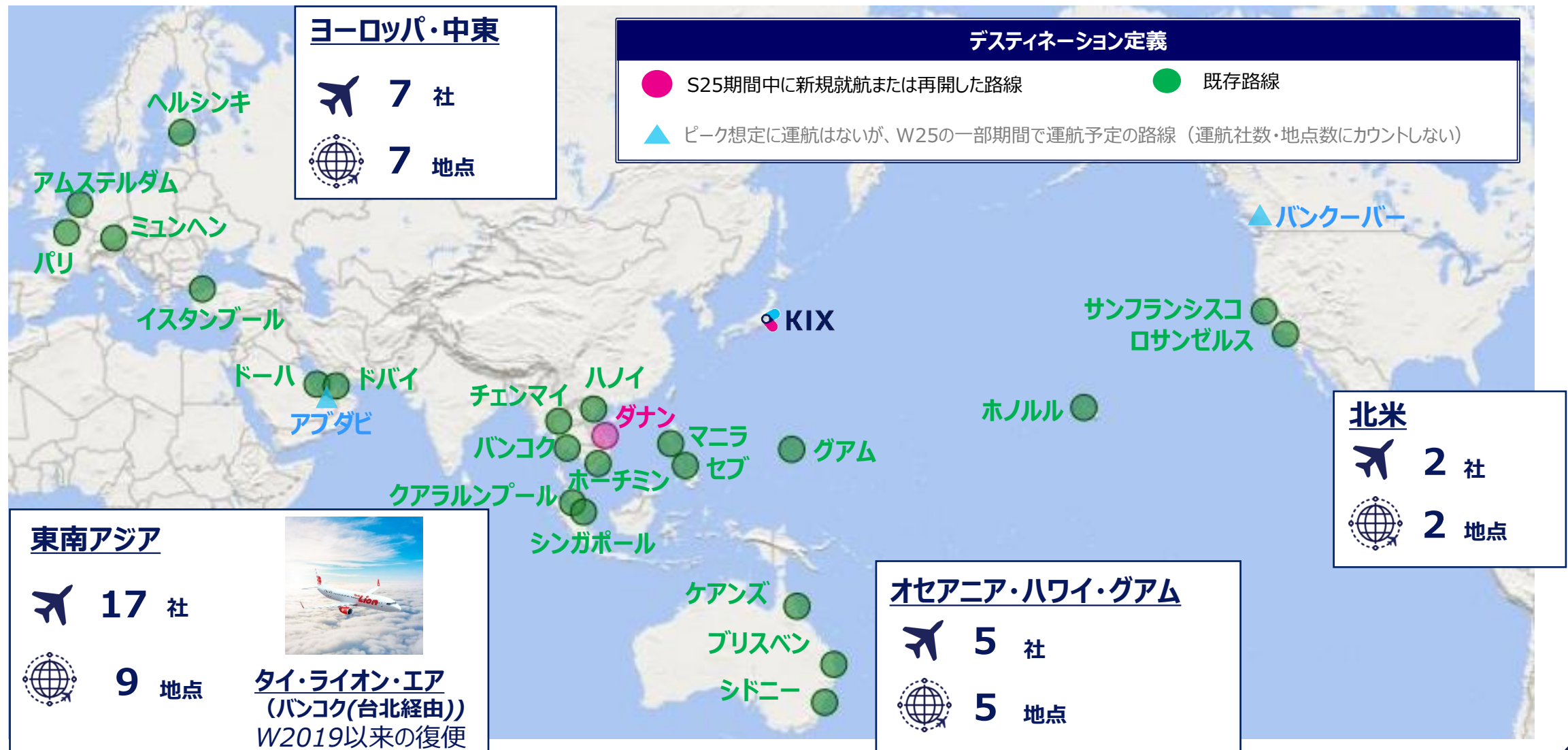
W25 :  **1,553.5便** (W24比**113%**)  **62社**  **63地点** S25 : 1,529便 65社 68地点



KIX 国際旅客定期便 国・地域別国際線ネットワーク

(ヨーロッパ・中東・北米・オセアニア・東南アジア)

・ 数値はピーク想定12月時点のもの



KIX 国際旅客定期便 国・地域別国際線ネットワーク (アジア地域)

・ 数値はピーク想定12月時点のもの

デスティネーション定義

- S25期間中に新規就航または再開した路線 ● 既存路線

中国

✈ 19 社
🌐 31 地点

香港・マカオ

✈ 6 社
🌐 2 地点



韓国

✈ 10 社
🌐 5 地点

台湾

✈ 6 社
🌐 2 地点

KOBE 国際チャーター便就航状況

2025年4月18日以降、4社5都市に就航中

国・地域	都市名	航空会社名	S25期初 運航便数	W25期初* 運航予定便数
韓国	ソウル（仁川）	大韓航空	毎日 2 便	毎日2便
中国	南京	吉祥航空	毎日	週3便
	上海	吉祥航空	毎日	毎日
台湾	台北	スターラックス航空	週 3 便	週3便
		エバー航空	週 2 便	週2便
	台中	スターラックス航空	毎日	毎日

*一部例外設定日あり



大韓航空



吉祥航空



スターラックス航空



エバー航空

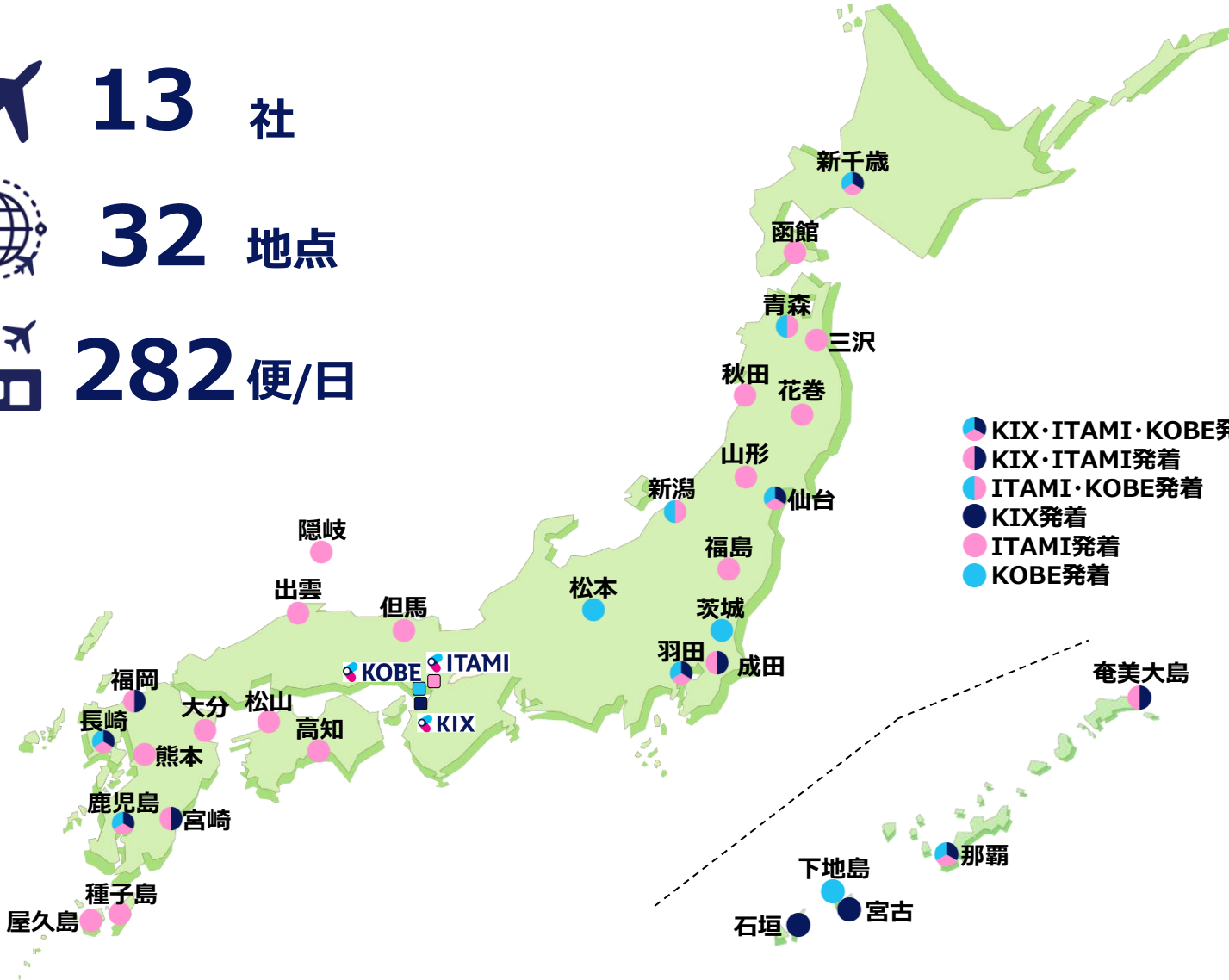


* 2025年冬期スケジュール開始日（10/26）より1週間

国内旅客定期便 国内線ネットワーク (2025年冬期スケジュール)

・ 数値はピーク想定1月時点のもの
・ 臨時便を除く。

 **13** 社
 **32** 地点
 **282** 便/日



 **KIX** **6社 12地点 58便/日**

- ・スターフライヤー 
- ・ジェットスター・ジャパン 
- ・日本航空 
- ・ピーチアビエーション 
- ・全日本空輸 
- ・日本トランスオーシャン航空 

 **ITAMI** **4社 27地点 185便/日**

- ・IBEXエアラインズ 
- ・日本航空 
- ・天草エアライン 
- ・全日本空輸 

 **KOBE** **6社 11地点 39便/日**

- ・ソラシドエア 
- ・スカイマーク 
- ・トキエア 
- ・AIRDO 
- ・フジドリームエアラインズ 
- ・全日本空輸 